

注意① 解答はすべて別紙の解答用紙に記入しなさい。

注意② 字数が指定されている設問では、「」や「。」も一まず使いなさい。

1

出版社に入社後、ボクシング雑誌に配属された空也が、初めて生で見たのが立花の試合だった。その立花が、大試合で若い選手に負けた。次は、空也が立花のトレーナーの萬羽と、そのことを話している場面である。これを読んで、①～⑥に答えなさい。

受験番号
算用数字

「トレーナーやっていると、そういうのって最初に見えてくるんだよ。八百メートルダッシュしろと言うじゃない。なんで走るんですかと訊くのがいる。走って具体的にどこが鍛えられるんですかと説明して理解すると、すぐにやる。訊かないで、すぐにやるのもいる。でも、これがふつう。その次の日、そう言われなければもうやらない。それはもつとふつう。ごくまれに、八百走れただけ言ったのに、何度も何度もやるのがある。それこそ、吐くまでやるのがある。スポーツの世界じゃなくても、なんでもそうだと思う。空也くんはなんだっけ、本の仕事してんだっけ。この本読んでこいと言って、まあみんな読むわな。次に何も言われなければ読まない。でもそんななかに、その本を書いた人のぜんぶの本を読んでくるやつ、いるだろう。原語でまで読もうとする、おかしなのがさ」

まだ萬羽の話が見えない空也は、⑥自分に当てはめてその話を聞いていた。萬羽の分類によると、なんにせよ自分はふつうか、もつとふつう、ということになる。勉強は苦ではなかったが、テスト前まで勉強しないことも多かった。本を読むのは好きだったが、自分の興味のないものは触れもしなかった。

「そういうおかしなやつらにとつては、自分のやつてることはちつともおかしくない。やれと言われているからやつてるだけ。ハタから見れば過剰だが、本人たちは至って素直なだけなんだ。どの分野でも、そういうやつは、まあ、成功する。経済的とか知名度っていう意味での成功じゃない、その道のプロになる。たどしく道を示してくれる人なりものごとなりに出あえば、かなり上位のプロになる。ぼくはボクシングしか知らないが、ほかのことでもみんな⑥そうなんだろうと思うよ」

自分のことを考えていた空也は、いつの間にか蒼介のことを考えていた。蒼介と似たような話をしたことを思い出す。努力と才能とどっちが勝つか。天才は、努力を努力とも思わないはずだと蒼介は言っていた。つまり萬羽の言う「素直な人たち」は、天才ということだろうか。

「立花はそういうやつなんだ。なぜそのトレーニングを、なぜ四でも六でもなく五セットやるのかとは訊かない、訊く前にやつてる。④五セットって言ってるのに十セットも十五セットもやる。心配なのはオーバーワークで調子崩すことだけ。立花は意外に胆が小さいから。空也くん、そういうやつは上位にいくんだよ。日本タイトルとれるのが、まあ、言っちゃなんだけど、当たり前なんだよ」

萬羽はもう空也を見ておらず、片手で頬杖をしたまま、薄暗い空間にぼうつと浮かび上がる、無数のレコードの背を見るときもなく眺めて、言葉を紡ぐ。

「けど、そこから先がある。そこから先にいくのは本当に難しい。素質とさっきの過剰さ、精神力、それに運も加わる。親がアスリートだったとか、ジムが強力だとか、サポーターが抜群にいいとか、そういうのも運さ。このトレーニングメニューをこなせばこの先にいけるという保証はない」

はじめて立花を萬羽に会わせるとき、「約束がある」と萬羽は立花に言ったことを空也は思い出す。

「ぼくと組んだだけでチャンピオンになれるとか、世界いけるとか、思うなよな」と言ったのだ。あのときは、実績あるトレーナーをつけたからといって油断するなという意味だと思っていた。⑥けれど違うのかもしれないと、空也は今、思う。そこから先へは、もしかして、ひとりきりでいくしかないんじゃないか。そのことを言っていたのではないか。

萬羽がそれきり黙ってレコード棚を見つめているので、「それであの……」空也は口を開いた。開いたが、言うべき言葉が出てこない。

「うん、立花はね、ここまでではこれる。それはぼくはわかる。いや、最初からわかってた。日本タイトルまではとれる。防衛もできる。OPBFもいけるかもしれない。でも」萬羽は言葉を切る。空也を正面から見る。薄く笑う。「でも世界は無理かもな」

ああ……。心のなかで言った言葉が、ため息となつて出る。そんなことは萬羽から訊きたくなかった。

「と、いうか、今までほかの選手でも無理だと思ったことは何度もあるよ。でも、その先までいくやつはいた。いったいどうしちゃったんだって思うほど、こつちが驚くほど化けるやつもいるんだよ。だから断言はできない」萬羽のなぐさめるような④口調で、空也は自分の表情が、今、ずいぶん情けないのだろうと推測する。「もちろんぼくだって、心機一転、上を目指すわけだよ。あきらめて言ってるわけじゃない」

「それはわかります」

出典 角田光代『拳の先』

（注）そういうの：何かにがむしやらに取り組む人と、そうでない人がいること。

蒼介：漫画家。空也と立花の試合を見に行った。

無数のレコード：萬羽は本業としてレコード店を営んでおり、二人はそこで話している。

OPBF：東洋太平洋ボクシング連盟。アジア地域を統括している組織。

① ———の部分③・④の漢字の読みを書きなさい。

② 「⑥自分に当てはめて」とあるが、空也は萬羽の話に当てはめて自分をどう思いましたか。次の文の□に入れるのに適当なことばを二十字以内で書きなさい。

本の仕事をしており、読書も好きだったが、□の人間である。

③ 「⑥」の指す内容を説明したものとして最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

ア やれと言われたら、なぜ必要なのかを確認して理解しようとする人はその道で成功するということ。

イ やれと言われたことをやり過ぎに見えるほど素直にやる人は、その分野のプロになるということ。

ウ やれと言われた以上のことを、他を犠牲にしても続けられる人はプロになれるということ。

エ やれと言われたことをひたすら続ける人間は、その分野のみならず経済的にも成功するということ。

④ 「④五セットって言ってるのに十セットも十五セットもやる」とあるが、このように、一つのこと集中することを表す四字熟語として最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

ア 一衣帯水 イ 一期一会 ウ 一意専心 エ 一刻千金

⑤ 「⑥けれど違うのかもしれないと、空也は今、思う」とあるが、今の空也はどう考えていますか。次の文の□に入れるのに適当なことばを「日本タイトル」「先」ということばを使って四十文字以内で書きなさい。

立花は、□ということをも萬羽は言っていたのではないかと考えている。

⑥ この文章の表現の特徴について説明したものとして最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

ア 「原語でまで読もうとする、おかしなのがさ」という表現は、それを行う人間を萬羽がただ批判しているわけではなく、尋常でない行動をとる人へのおそれを示唆している。

イ 「いつの間にか蒼介のことを考えていた」という表現は、自分に当てはめて萬羽の話を聞いていた空也が、これはまさに蒼介のことだと気づいた驚きを表している。

ウ 「萬羽は言葉を切る。空也を正面から見る。薄く笑う」という表現は、立花を心配する空也に厳しい現実をつきつけることに対する萬羽のためらいが読み取れる。

エ 「あきらめて言ってるわけじゃない」という表現は、既にあきらめている自分の心情は隠して、落胆している空也を慰めようとする萬羽の配慮が表れている。

2

次の文章は、古生物学者の、更科功さしなみよが書いた文章である。これを読んで、①～⑥に答えなさい。

絶滅種を復活させるためには、多額の資金がいる。[Ⓐ]ある試算では、絶滅種を1種復活させる資金で、絶滅危惧種を3種ぐらい救うことができるという。もしも使える金額が一定であれば、単純に考えて、1種復活させると3種絶滅することになる。絶滅種を復活させると、差し引きで[Ⓑ]ソンシツが生じるわけだ。

ただし、これには反論がある。[Ⓒ]絶滅種を復活させるプロジェクトの多くは、政府ではなく民間から資金を調達している。民間の出資者の中には、ある特定の種にしか興味を持たない人が結構いる。そういう人たちは、マンモスにはお金を出すけれど、ニシアメリカフクロウにはお金を出さないかもしれない。そういう場合は、絶滅種を復活させたために絶滅危惧種を救えなかった、ということにはならないだろう。現実の、絶滅種の復活プロジェクトを考えると、この反論には一定の説得力がある。とはいえ、一握りの人気のある種だけを復活させて、他の種を無視することは、バランスを欠いており、健全な生態系の復活に結びつかないことはもちろんである。

他に想定される問題としては、復活種は単なる外来種ではないかという批判がある。「絶滅種を復活させた生物」という色眼鏡いろめがねを外してみれば、復活種は生態系にとって単なる侵略的外来種である、という批判に応えることは難しい。さらに、(チャーチによる復活マンモスのように)復活種に遺伝子操作が行われている場合は、遺伝子操作された生物を野に放つてよいのかという問題も加わる。

さらに、もつとも直接的な危険としては、復活種が人間に危害を及ぼすことが考えられる。たとえば、復活したマンモスが人間を襲うケースなどだ。

絶滅種の復活の目的が、生態系の復元である場合、復活種を野生に返すことは必須条件である。檻かぎに入れたり綱で繋つないだりしないのだから、復活種が人間に危害を加える可能性を想定しておくことは必要だろう。実際、[Ⓓ]ジャコウウシによる被害は現実のものとなった。

正確には絶滅種ではないが、ジャコウウシはノルウエーで地域絶滅していた。そこで、1932年と1947年に、ジャコウウシがノルウエーに再導入されたのである。

ジャコウウシが再導入されたのは山中だったが、それでも山歩きをしている人々と鉢合わせをする事態はときどき起きた。ジャコウウシが増えるにしたがつて、人々との摩擦は増加していき、怪我けがをさせられる事態も起きるようになった。そして、ついに1960年代のある日、70代の男性がジャコウウシに突進され、それが原因で亡くなると、地元住民の反対運動は頂点に達した。ジャコウウシを全頭射殺しようとする人々もいた。これは政府によって抑えられたものの、こういう事態はいつ起こっても不思議ではないだろう。

(中略)

また、[Ⓔ]そもそも生態系を復活させることなどできない、という考えもある。

200年近くも前のことだが、ダーウィンがこんな観察をしている。彼の義父が所有していた土地の中には、ほとんど樹木のない荒地があった。その一部を何ヘクタールにもわたつて柵さくで囲つて、アカマツを植林したのである。それから25年が経たつと、その植生は、ガラリーと大きく変わってしまった。

かつては見られなかった植物が12種も茂っており、食虫性の鳥が6種も観察されるようになった。昆虫に関してはよくわからないが、食虫性の鳥が増えたことから推測して、やはりその構成が大きく変化したことは間違いない。

このような生態系の変化をもたらした原因は、アカマツを植えたことと、柵で囲つたためにウシが入つてこなくなったことである。それだけで、それ以外の何十種もの生物が変化してしまったのである。もつとも、これはダーウィンが直接観察できたものと、観察から推測できたものの数であつて、観察できなかったものもたくさんあると思われる。ダーウィンの義父の土地では、実際には数百種以上の生物がさまざまな変化を起こしたことは確かだろう。

つまり、生態系の中で1種か2種が変化すれば、その影響は数百種以上に及ぶということだ。そういう状況で、最初に変化した1種か2種を元に戻したところで、生態系のすべての種が元どおりになることは、まずあり得ない。とくに、その影響で絶滅した生物が何種もいる場合は、それらも復活させなければならぬ。それらを総合的に考えると、一度変化させた生態系を、完全に元どりにすることは不可能だといってよい。

生態系の中で、それぞれの生物は[Ⓕ]「アミの目のように絡み合い、私たちの目が届く範囲を超えてはるか彼方かなたまで、あるいははるかな微小領域まで広がっている。そんな生態系を完全にコントロールすることなど、私たちにはできないのである。

出典 更科功『化石に眠るDNA』

(注) ニシアメリカフクロウ：北アメリカ西部に生息する絶滅危惧種。

チャーチ：アメリカの遺伝学者。遺伝子操作でマンモスをよみがえらせるための研究チームを立ち上げた。

ダーウィン：イギリスの自然科学者。

① ———の部分[Ⓖ]・[Ⓕ]を漢字に直して楷書で書きなさい。

② 「[Ⓐ]ある」と品詞が同じものは、[Ⓐ]ウエのうちではどれですか。一つ答えなさい。

[Ⓐ] 明日は試合がある。 ^イ そこにある花をください。

^ウ 配達を頼んである。 ^エ ある晴れた日曜日のことだ。

③ 「絶滅種を復活させる……資金を調達している」とあるが、このことの問題点について説明した次の文の□□に入れるのに適当なことばを、「興味」「人気」ということばを使って、三十五字以内で書きなさい。

民間の出資者の中には□□ことになり、バランスを欠いてしまう点。

④ 「[Ⓓ]ジャコウウシ」の例はどういうことを述べるために挙げられていますか。その説明として最も適当なものは、[Ⓐ]ウエのうちではどれですか。一つ答えなさい。

[Ⓐ] 絶滅種を復活させるのは、生態系の復活が目的である以上、野生に戻す必要があり、拘束しておけないため、人間に危害を与える危険があること。

^イ 復活種を山中に戻すと、復活種が人間を襲い、それがエスカレートして街中で暴れるようになり、人間の生活を脅おそかす危険があること。

^ウ 絶滅種を復活させるには遺伝子操作を行わざるを得ず、それを野生に放てば、未知の遺伝子をもつ動物が生まれ、人間を脅おそかす危険があること。

^エ 絶滅種を復活させた場合、自分たちに危害が及ぶことを恐れる住民たちによって、動物が生態系にかえることを阻害される危険があること。

⑤ 「[Ⓔ]そもそも生態系を復活させることなどできない、という考えもある」とあるが、その理由について説明した次の文の□□、[Ⓐ]Yに入れるのに適当なことばを、それぞれ十三字で文章の中から抜き出して書きなさい。

生態系では、生物が複雑に絡み合っており、たとえ数種の生物の変化でも□□Xのだから、復活種を数種戻したとしても生態系を□□Yは無理だから。

⑥ 本文の内容を説明したものとして最も適当なのは、[Ⓐ]ウエのうちではどれですか。一つ答えなさい。

[Ⓐ] 絶滅種を復活させるためには多額の資金が必要であるが、絶滅危惧種の保護にはそれ以上の資金が必要となる。

^イ ノルウエーではかつてジャコウウシを再導入したが、住民の反対運動が拡大し中止せざるをえなかった。

^ウ ダーウィンは義父の所有する土地でアカマツを植林した結果、新種の食虫性の鳥や昆虫を多数発見できた。

^エ 絶滅種を復活させた生物は、生態系から見れば何らかの影響を与える外来種であるとも捉えられる。

3

次の文章は、平安時代を代表する歌人、紀貫之の和歌について書かれた文章である。これを読んで、①～④に答えなさい。

受験番号
算用数字

恋愛に際して、季節の花の枝に歌を結びつけて贈り、思いを相手に伝えるというのは、彼らの生活の必要な習慣だった。また、官位の昇進を歎願するにも、歌を通してすることが好ましいことであった。しかし、和歌は五七五七七合わせて三十一文字という短小な詩形であり、この短小な詩形に複雑な思いを盛ることは、大体がきわめて困難なことである。自分の思いを盛り、同時に相手の関心をかきたて、あつと思わせるためには、当然この短小な詩の内容にある種の新味をそえ、複雑化するための技巧が必要であった。その技巧は、しかしながらあくまで三十一文字の制限内でのものでなければならなかったから、おのずと性質が限られてくるのはやむを得なかった。小西氏が精細に論じた六朝詩の技巧の古今歌人への影響ということについて、それが主として「見立て」や「語戯」の面に集中していたという事実には、和歌という詩形の側からする必然的な理由があったのだと考えられる。「見立て」や「語戯」は、この短小な詩形の中でも、かなりの程度まで駆使できる技法だったからである。

雪と花、女と花、雪と鶴、花と雲、波と花、滝と雲、月と雪、紅葉と錦、滝と糸、あるいは白髪と雪その他、貫之の歌に頻出する譬喩、見立ての趣向は、貫之だけでなく、当代一般の歌人たちもまた愛用したものであった。今では陳腐な連想になり終っているこれらの組合せも、中国詩からの影響を受けつつ、一方でそれを三十一文字の内容の複雑化、味わいの重層化に活かそうという切実な要求がなかったなら、あれほどにも愛玩濫用され、その結果陳腐なものになりはてることもなかったろうと思われる。

春、歌合せさせ給ふに、歌一つ奉れと仰せられしに

A 桜散る木の下風はさむからで空にしられぬ雪ぞ降りける

(八〇二)

子規はこの歌を「駄洒落にて候」と一言のもとに切捨てたが、それはこの歌の見どころを、単に散りしきる桜をその白さゆえに雪と見立てて興じているだけのものと見たからで、「見立て」の趣向という技巧だけをとりあげるなら、たしかに駄洒落にすぎないようなものにちがいない。けれども、そういう技巧は、その当時には、生活の必要物としての和歌に新しい血を注ぎこむことを意味していたのであり、その範囲内では、明らかに、すぐれた作もあればそうでない作もあったのである。

今引いた「桜散る」の歌については、藤原俊成のほめことばがある。俊成は古来風体抄でこの歌をあげ、「この歌は、古今に承均法師、はなのところは春ながらといへる歌の、古き様なるをやらばて詠みなしたれば、末の世の人の心にかなへるなり」と評した。承均の古今集の歌とは

雲林院にて、桜の花の散りけるを見てよめる

B 桜散る花のところは春ながら雪ぞ降りつつ消えがてにする

(古今集七五)

というのである。較べてみれば優劣は瞭らかで、承均の歌には、艶も余情もない。「桜散る花のところ」という詞は興ざめな低調さをもっている。それにくらべて、貫之の歌には、口ずさめば一層あきらかになるサ行の囁きのひめやかな音楽性があつて、そういうところに費やされた貫之の苦心とその成功は、勇壮活發を好んだ子規の耳をもつてはとらえ得なかったのであった。その点では、俊成は遙かにいい耳をもつ鋭敏な批評家であった。古来風体抄は俊成が式子内親王に、歌の姿のよさ、詞のをかしさ、つまりよい歌の本質をなすものは何かと問われて書いた歌論書だが、そこで彼がとりわけ強調していることは、「歌はただ詠みあげもし詠じもしたるに、何となく艶にもあはれにも聞ゆることのあるるべし。もとより詠歌といひて、声につきてよくもあしくも聞ゆるものなり」ということだった。つまり、この、和歌史上最大の存在の一人というべき中世の歌人は、和歌のよしあしの判定を、声に出して詠みあげたときに「何となく」艶にもあはれにも——つまり、「艶」と「あはれ」（こゝでは幽玄とほぼ同義に用いられている）という通常対比的に考えられる美感の双方が、わかちがたく重なり合っ

て——聞こえるような歌を最高のものとしたのである。そういう観点から、貫之の歌を高く評価したのである。

(注) 彼ら：平安時代の歌人を指す。 小西氏：小西甚一。国文学者。 出典 大岡信『紀貫之』

六朝詩：六朝は中国の、後漢滅亡後、隋まで存在した六つの王朝。その時代に作られた漢詩を指す。

見立て：あるものを別のものに言い換えて表現する技法。 語戯：言葉遊び。 桜散る木の下風はく：『拾遺集』にある貫之の和歌。

子規：正岡子規。明治時代の歌人・俳人。

藤原俊成：平安後期の歌人。「としなり」とも読む。幽玄体の歌を確立した。

雲林院：京都の寺院。桜と紅葉の名所として歌によく詠まれた。

式子内親王：平安末期の歌人。皇女。

① 貫之の時代の和歌の説明として適当でないものは、ア、イのうちではどれですか。一つ答えなさい。

A 恋愛や官位の昇進にも結びついた生活の一部であった。

I 見立ての技法は庶民にも受け入れられ歌に新味を与えた。

ウ 中国詩の影響は主に「見立て」や「語戯」に集中した。

E 短小な詩形ゆえに内容の複雑化に技巧が用いられた。

② Aの和歌について述べた次の文のX、Yに入れるのに適当なことをばを、Xは最も適当なものをア、イのうちから一つ答え、Yは文章中から六字で抜き出して書きなさい。

この歌の大意は、「桜の花が散るX、空には知られない雪が降っているのだ」であり、子規はYと断じたが、俊成は、後世の人の心に適っているとした。

A 木の下を吹く風は寒くはなくて

I 木の下にまだ寒い風が吹いており

ウ 木の下を風が吹かないので寒くなく

E 木の下に寒い風がいずれ吹きそうで

③ A・Bの和歌についての説明として最も適当なのは、ア、イのうちではどれですか。一つ答えなさい。

A Bの和歌は、桜の花を雪に見立てた点はAの和歌と同じだが、「桜散る花のところ」以外の部分は低調なものとなっている。

I Bの和歌には艶も余情もないが、Aの和歌からは和歌に新しい血を入れようとする作者の苦心とその成功が感じられる。

ウ Bの和歌は、俊成が古来風体抄で、Aの和歌の古風なところをわかりやすいように詠んだものとして取り上げられている。

E Bの和歌は、勇壮活發な歌を好む子規にはAの和歌よりもよいとされたが、俊成はAの和歌よりも劣ると評した。

④ 中学三年生のかおるさんは、この文章を読んで次のような感想文を書いた。I、IIに入れるのに適当なことをばを、Iは十字以内で書き、IIは文章中から八字で抜き出して書きなさい。

俊成の歌論に興味がわいて調べたところ、「艶」とは華やかな美しさを指し、「あはれ」とはしみじみとした情趣を指すそうです。そして、俊成は、その二つがI和歌をよいものとしています。

そして、この文章の筆者である大岡氏は、Aの歌を口ずさむとIIが感じられ、その点で俊成はAを高く評価したと考えているようです。

4

四人の中学生が、**街区公園**について【資料Ⅰ】～【資料Ⅲ】をもとに話し合いをした。次の【四人の中学生の話し合い】を読むで、①～④に答えなさい。

【四人の中学生の話し合い】

杏奈

今日は、私たちの住むA市の街区公園について話し合うよ。街区公園は、その街区に住む人の利用を目的とした身近な公園のことだよ。現在の問題点をふまえて、これからの街区公園を考えていこう。

政也

【資料Ⅰ】を見て。全部で**95**あるA市の街区公園について、その遊具数の変化がまとめられているよ。これを見ると、**X**ということがわかるね。そこから考えると、公園が子どもたちだけの場所ではなくなりつつあると言えそうだね。

未来

うん。うちの近所の公園は、時間帯で利用する人が違うみたい。早朝や夕方は犬の散歩をしている人が、午前中はお年寄りや保育園児、放課後は小学校くらいの子どもたちが主に使っているよ。

広夢

人気のある公園なんだね。僕の家の近くの公園は、あまり利用されていないみたいだ。木や雑草が茂りすぎているせいか見通しも悪くて、夜は通るのをためらう感じだよ。

杏奈

【資料Ⅱ】を見てくれる？ 公園に行くことが少ない人に「公園に行かない理由」を尋ねたアンケートの上位項目だよ。「禁止されていることが多い」はよくわかるよ。未来さんの家の近くの公園は犬の散歩ができるみたいけど、うちの近くの公園は禁止。自転車も禁止だし、ボール遊びもしてはいけませんって書いてある。

未来

なるほど。それは厳しいね。「したいことがない」という回答も、禁止事項の多いことが影響しているかもしれないね。ルールをもう少し柔軟にすることが必要かも。

広夢

「休める場所がない」ってどういうことだろう？ ちよつと涼める木陰がないとか、ベンチが少ないとかを指しているんだと思う。暑い日や雨のときに、屋根のようなものがあるスペースがないとつらいよね。

杏奈

「管理状態が悪い」というのは、トイレが汚いとか、ゴミが落ちていたりとかのことだろうね。問題が多いね。そうだね。A市では、行政の人だけではなくて公園に関わる市民も参加して、公園をよくしようというプロジェクトがもうすぐ立ち上がるらしいよ。

広夢

確かに公園のあり方は一つではないから、意見を出し合うことは大切だね。僕たちも利用目的に合わせた**特色**ある街区公園を考えてみるのはどうかな。

杏奈

いいね。じゃあこの【資料Ⅲ】に、公園に何をしに来たか、上位回答が四つ書かれているから、これを手掛かりに考えてみようか。私は、家の近くに**Y**ことができる公園があったらいいなと思ったよ。具体的には、**Z**

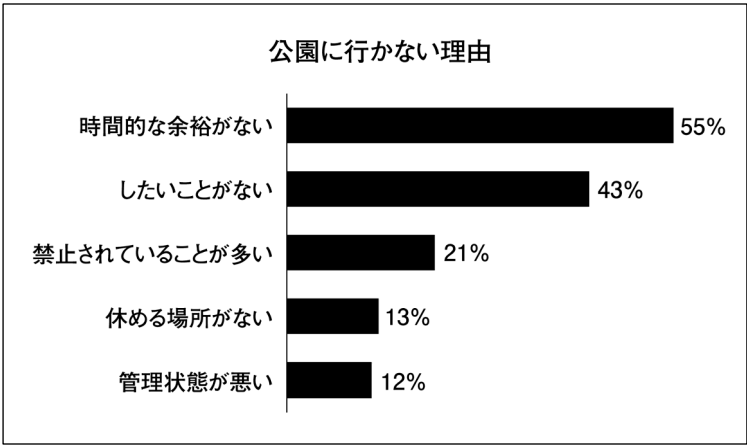
【資料Ⅰ】

A市街区公園等における遊戯施設等の設置状況（数）

	2001	2004	2007	2010	2013	2016	2019
踏み板式ぶらんこ	41	42	44	46	46	43	47
すべり台	39	41	42	43	43	40	44
砂場	43	44	44	45	43	37	41
健康器具系施設	6	9	13	18	24	26	31
複合遊具（鋼製）	6	8	10	12	14	15	17
ジャングルジム	10	10	10	10	7	7	8

健康器具系施設……ぶらさがり器や背中を伸ばせるベンチなど。
複合遊具……すべり台とのぼり棒など、複数の遊具が一つになったもの。

【資料Ⅱ】



(A市でのアンケート。複数回答)

【資料Ⅲ】

公園の利用目的	
ア	散歩や軽い運動をする
イ	子どもが遊ぶ
ウ	休憩や食事をする
エ	スポーツを楽しむ

① 「**特色**」とあるが、「特色」と同じ意味で「色」が使われているのは、**ア**～**エ**のうちではどれですか。一つ答えなさい。

ア 才色 **イ** 色彩
ウ 顔色 **エ** 異色

② 政也さんの意見が論理的なものとなるために、**X**に入れるのに最も適当なのは、**ア**～**エ**のうちではどれですか。一つ答えなさい。

ア 約二十年の間で増加の一端をたどっているのは健康器具施設のみで、他の遊具は徐々にその数を減らしている
イ 約二十年の間でぶらんこすべり台は2019年が最低値であるが、ジャングルジムは2019年が最高値である
ウ 約二十年前と比べてぶらんこやすべり台の数は一割程度増加しているが、健康器具施設は五倍以上増加している
エ 約二十年前と比べてジャングルジムや砂場は数が減少しており、その空きスペースに健康器具施設が設置されている

③ 話し合いにおける四人の発言の特徴について説明したものとして適当なのは、**ア**～**オ**のうちではどれですか。当てはまるものをすべて答えなさい。

ア 杏奈は、二つの資料を提示して資料内容を説明するとともに、両方の資料について質問に答えている。
イ 政也は、資料の項目について、感想を述べたのち他の人の発言や実体験をもとに詳しく説明している。
ウ 未来は、他の人の発言に同意を示したのち、その事実から予想される実情について考えを述べている。
エ 広夢は、話題について自分の体験から問題点を示したり、新たな視点から提案を行ったりしている。
オ 杏奈と政也は、話し合いの前提となる知識をグループ全体に伝えたうえで、問いを投げかけている。

④ 杏奈さんの発言の**Y**、**Z**に入れるのに適当な内容を、Yはあなたが関心のある項目を【資料Ⅲ】**ア**～**エ**のうちから一つ選んで答え、Zは**条件**に従って六十字以上八十字以内で書きなさい。

条件
1 二文に分けて書き、一文目に、Yで選んだ目的に合わせた公園の工夫を具体的に書くこと。
2 二文目に、一文目の工夫をすることによって、どのようなメリットがあるのかを書くこと。